

### ■ 編集方針

#### 1. 本誌の目的

本誌は経カテーテル心臓弁治療、およびそれに関連した分野における最新の情報や技術を提供・共有することを目的とする。

#### 2. 投稿資格

会員・非会員を問わず、投稿を受け付ける。

#### 3. 論文種別

経カテーテル心臓弁治療の発展に貢献しうるオリジナリティに富んだ論文を歓迎する。原著、総説、症例報告、How to Do It を募集する。

#### 4. 投稿の言語

論文の言語は、英語のみ受け付ける。

#### 5. 論文審査

審査はシングルブラインドで行う。2名の査読者によって査読を行う。投稿論文の採否は編集委員会によって決定する。場合により原稿の一部改正または訂正を求めることもある。

#### 6. 著作権

投稿論文は過去に他の出版物に公開されたことがなく、他誌に現在投稿されていないものに限る。また、投稿論文が他の著作物を侵害していないこと、論文中において転載許諾が必要な部分について、その許諾を得ておくこと。

著者全員が以下の諸項を確認したうえで、投稿論文の著作権（著作権法第27条、同第28条に定める権利を含む）は日本経カテーテル心臓弁治療学会へ譲渡される。論文は、クリエイティブコモンズ CC-BY-NC-ND（表示・営利利用不可・改変禁止）の国際ライセンスの条件下で掲載される。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

#### 7. 倫理方針

人を対象とする研究は、ヘルシンキ宣言に基づき実施され、施設の倫理委員会の承認を得たことを本文中に明記する。動物を対象としている研究は、施設のガイドラインにのっとっていることを本文中に明記する。患者情報の記載がある場合は、患者のプライバシーに十分配慮し、インフォームドコンセントを得た上で投稿し、承諾の書面を編集委員会に提出する。特定臨床研究は、倫理委員会番号と医学雑誌編集者国際委員会(JCMJE)の基準を満たす登録サイト(UMIN-CTR, JMACCT, Japic CTI等)に登録し、登録番号を要旨末尾に記載する。

#### 8. 利益相反

##### 1) 開示基準

共著者を含めた全著者が利益相反を開示すること。対象期間は、投稿日からさかのぼって過去3年間とする。

##### 2) 開示の方法

利益相反の開示は、①論文への記載、②利益相反自己申告書の提出、の両方を行う。

①論文への記載：下記の記載例にしたがって、論文の文献リストの前にサブタイトル「利益相反の開示」をつけて記載する。

記載例) 著者AはX株式会社から研究資金の援助を受けている。著者BはX株式会社の社員である。著者CはX株式会社から講演料等の謝金を受けている。筆頭著者および共著者全員が利益相反はない。

##### ②申告書

申告書はジャーナルHPの投稿規定掲載画面と同じ画面からダウンロードできる。筆頭著者または連絡著者が全員の利益相反をまとめて1枚の申告書に記入し、論文投稿時に論文ファイルと一緒に提出する。

#### 9. 著者資格

「著者」は、ICMJE (International Committee of Medical Journal Editors) が推奨する下記の4つの条件をすべて満たす者に限る。また、下記の4つの条件をすべて満たす者は「著者」としなくてはならない。

1) 研究の構想と企画、データの取得、分析、解釈に実質的な貢献をした。

2) 原稿の起草や、高度な知識に関する内容について批評的な推敲を行った。

3) 出版原稿の最終承認を行った。

4) 研究のあらゆる部分の正確性あるいは公正性に対する疑問が適切に調査・解決されるように、研究のすべての側面について説明責任があることに同意している。

上記4条件を満たさないが、研究に何らかの貢献をした者は「謝辞」に記載する。

#### 10. 他論文の引用

他誌からの図表などを利用する場合、間接引用・直接引用問わず、必ず出典明記すること。直接引用をする場合は、「必要最低限の分量」を「原文のまま」「自分の本文と引用部分をカギ括弧やインデント等で明確に区別する」こと。許諾が必要な場合は、著者の責任で投稿前に許諾を得ておくこと。

## 11. 不正投稿

他人の論文の出典記載なしの引用や無許諾の利用、二重投稿・二重出版は厳重に慎むこと。不正の可能性が検知された場合は、編集委員会から書き直しを要請したり、審査を中止する場合がある。

二重投稿：同時に複数の雑誌に投稿すること

二重出版：すでに他誌に掲載されている論文と、同じまたは、ほぼ同じ論文を別の雑誌に投稿すること

## 12. 二次出版

ある言語ですでに公開されている論文を、別の言語で公開することを二次出版（投稿）という。以下の

要件を満たす場合は、正当な二次出版投稿と認め、審査する場合は有る。

- 1) それぞれの発行者が了解している。
- 2) 発行時期に 2 週間以上の間隔がある
- 3) 後版は初版と異なった読者層（言語が違うなど）のために著述されている。
- 4) 後版の論文には、すでに他の言語で公表されたものであることを明記すること。
- 5) 後版は初版の内容を忠実に反映していること。

## ■ 投稿の様式

### 13. 投稿先

投稿はすべて、論文ファイルをメールに添付して下記編集室宛てに送ること。ファイルは、本文、表、図を別々にして、「本文」「表 1」「表 2」「図 1」「図 2」「利益相反自己申告書」とファイル名を付けること。

#### 【投稿先】

JTVT 編集室  
株式会社国際文献社  
東京都新宿区山吹町 332-6  
電話 03-6824-9399 FAX 03-5206-5331  
Email: jtv-t-edit@bunken.co.jp

改訂投稿の際は、論文ファイルとともに、査読者への回答を添付する。改訂投稿では、改訂された箇所には下線やカラーフォントでハイライトをする。査読者への回答では、査読者のコメントに一つ一つ回答し、該当する本文の修正箇所を頁番号・行番号で示すこと。

改訂期限は、3 か月とする。

### 14. ファイルフォーマット

論文ファイルは、下記のファイルフォーマットを使用する。

- 1) タイトルページ・本文（要旨～図表の説明）：Word
- 2) Table：Excel, Word（画像データやテキストボックスの貼付は不可）
- 3) Figure：JPEG, TIFF, PowerPoint
- 4) Movie：MPEG, AVI
- 5) 利益相反自己申告書：Word, PDF

### 15. 本文の書式

Word の A4 判で、フォントスタイルは Arial または Times New Roman、フォントサイズは 10～11 ポイント、1 頁の行数 24 行、余白は前後左右を各々 30mm とする。頁番号をふること。

### 16. 英文校正

非ネイティブの著者による投稿は、医学論文の校正を専門とする ネイティブスピーカーによる校正を必ず受けること。

### 17. 数字・単位

数字は算用数字を用い、度量衡単位は CGS 単位で m, cm<sup>2</sup>, mL, dL, g とする。

### 18. 略語

題名、Key Words、要旨、本文において、初出の英単語は略さずスペルアウトし、2 回目以降は略語とする。図表の説明には、それぞれの図表について略語の定義を記載する。

### 19. 製品名の表記

製品名を記載する場合は、論文中の初出時に発売元を記載する。“TM”や“®”を記載する必要はない。記載例) GDC Ultrasoft (Stryker, Kalamazoo, MI, USA) →Manufacturer, City, State, Country (例) ED コイル-10 (カネカメディクス, 大阪) →企業名, 所在都道府県名 GDC Ultrasoft (Stryker, Kalamazoo, MI, USA) →企業名, 都市名, 州名, 国名

## ■ 論文の構成

### 20. タイトルページ

下記の項目すべての記載を必須とする。

- 1) 論文種別
- 2) 論文タイトル
- 3) 全員の著者名（スペルアウト）
- 4) 著者全員の所属施設・部署（論文が執筆された所属）
- 5) 連絡著者の氏名・連絡先（所属施設／部署名、住所、電話番号、メールアドレス）
- 6) キーワード 5 個以内

### 21. 論文の基本構成

要旨→本文→（謝辞）→著者の貢献→利益相反開示→文献リスト→図表の説明、の順に構成すること。

### 22. 論文種別による執筆要綱

論文の区分と長さは以下の通りとし、本文、文献および図表を含んだ長さとする。図表は 1 点あたり、1/4 頁換算（200 語）とし、本文、文献の長さを減じること。※論文の長さの文字数、刷上がり頁は目安であり、実際の刷上り頁数が目安を超過した場合

は超過ページ料金を著者が負担すること。

<b>総説</b>	編集委員会から執筆を依頼することもあります
語数	9,600 語以内 (刷上り 8 ページ)
要旨	400 語以内. 形式は問わない.
本文構成	形式は問わない. ただし, 本文の後に (Acknowledgment), Author Contribution, Disclosure Statement, References, Figure Legends が続く.
文献	50 個以内
図表	8 個以内
<b>原著</b>	独創性に富み目的, 結論等の明確な研究論文
語数	7,200 語以内 (刷上り 6 ページ)
要旨	400 語以内. 構造化 (Objective, Methods, Results, Conclusion の見出しをつける.)
本文構成	Abstract, Introduction, Materials and Methods, Results, Discussion, Conclusion, (Acknowledgment), Author Contribution, Disclosure Statement, References, Figure Legends
文献	30 個以内
図表	6 個以内
<b>症例報告</b>	経カテーテル心臓弁治療に関連した興味深い 1~2 症例の短報. 技術的側面の強いものは How to Do It に投稿すること.
語数	6,000 語 (刷上り 5 ページ)
要旨	250 語以内. 構造化 (Objective, Case Presentations, Conclusion の見出しをつける.)
本文構成	Abstract, Introduction, Case Report, Discussion, Conclusion, (Acknowledgment), Author Contribution, Disclosure Statement, References, Figure Legends
文献	20 個以内
図表	3 個以内
<b>How to Do It</b>	新しい装置や治療器具, 治療技術の開発など, 主としてテクニカルな点を強調したもので, 十分な臨床成績を積む前に報告する価値のある論文
語数	6,000 語 (刷上り 5 ページ)
要旨	250 語以内. 構造化 (Objective, Case Presentations, Conclusion の見出しをつける.)
本文構成	Abstract, Introduction, Case Report, Discussion, Conclusion, (Acknowledgment), Author Contribution, Disclosure Statement, References, Figure Legends
文献	20 個以内
図表	3 個以内

### 23. 謝辞

著者の資格を満たさないが, 研究に何らかの貢献をした者は「謝辞」に記載する.

### 24. 著者の貢献

各共著者貢献内容を記載する. 最後の 2 つの項目は全著者が行うことを必須とする.

例)

研究の構想およびデザイン: A

研究データの収集, 分析: B

原稿の起草: A 及び B

研究データの解釈, 原稿の重要な知的内容に関わる批判的な推敲: C

投稿論文ならびに出版原稿の最終承認: 全ての著者  
研究の説明責任の同意: 全ての著者

### 25. 利益相反開示

下記の記載例にしたがって, 論文の文献リストの前にサブタイトル「利益相反の開示」をつけて記載すること.

(記載例)

著者 A は X 株式会社から研究資金の援助を受けて

いる。  
著者 B は X 株式会社の社員である。  
著者 C は X 株式会社から講演料等の謝金を受けている。  
筆頭著者および共著者全員が利益相反はない。

## 26. 文献

登場順に番号をつけて列記する。文献は本文中で片括弧で superscript (上付き) の形式で引用し、すべて登場順に引用されていることを確認すること。著者は 3 名までは全員を、3 名以上の場合は 3 名までの名前を記載し、4 人目以降は "et al." とする。また、単行本の場合は編者の名を記入する。誌名は、Index Medicus のよる略語を使用すること。

<Journal>

1) Cohen JC, Boerwinkle E, Mosley, et al. Sequence variations in PCSK9, low LDL, and protection against coronary heart disease. N Engl J Med. 2006; 354: 1264–1272.

<Book>

2) Osborn AG: Diagnostic Neuroradiology. Mosby. St. Louis, 1994, 15-36.

<Online Material>

3) The Japan Stroke Society, The Japan Neurosurgical Society, The Japanese Society for Neuroendovascular Therapy. Guidelines for the Proper Use of Percutaneous Transluminal

Cerebral Thrombus Retrieval Devices, Edition 2. [http://jsnet.website/sozai/infoshonin/150402nokessenn\\_shishin.pdf](http://jsnet.website/sozai/infoshonin/150402nokessenn_shishin.pdf) (Accessed : December 10, 2017)

## 27. 表の説明

図表の説明は文献リストの後にまとめて記載する。図表の説明に略語を使用した場合は、個々の図表の説明にその内容をスペルアウトして明示する。

## 28. 表

表は Table 1, Table 2, …, と番号をふる。本文中では、すべての表を表番号順に引用する。Excel または Word で作成し、1 個につきひとつのファイルで保存する。表番号を Table 1 のようにつけて、タイトルを表の上に記載する。略語を使用した場合には個々の表の下部にその内容をスペルアウトして明示すること。また、画像データやテキストボックスを並べた表は不可とする。

## 29. 図

JPEG, TIFF, PowerPoint 形式で作成し、1 個につきひとつのファイルで保存する。解像度は、画像の場合、300dpi 以上、描画された図の場合には、1200dpi 以上とする。サイズはキャビネ版以上 (127mm×178mm) で作成する。

## ■ 制作と掲載

---

### 30. 著者校正

校正は著者の責任で行い、1 回限りとする。著者校正時に、掲載にかかる料金の確認を行う。

### 31. 別刷り

別刷を希望する場合は、著者校正時に 30 部、50 部からは 50 部単位ごとで注文を受け付ける。

問合せ先： JTVT 編集室

株式会社国際文献社

東京都新宿区山吹町 332-6

電話 03-6824-9399 FAX 03-5206-5331

Email: jtv-t-edit@bunken.co.jp